

# かていがくしゅう てび 家庭学習の手引き

「<sup>まな</sup>んだことが<sup>つか</sup>える子」「<sup>みづか</sup>自ら<sup>まな</sup>ぶ子」「<sup>つづ</sup>コツコツ<sup>つづ</sup>続けられる子」をめざそう!!



ねんせいばん  
1年生版

## <がくしゅうのまえに(がっこうからかえったら)>

- ◎ がっこうからの「おたより」や「プリント」を、おうちのひとにわたしましょう。
- ◎ ベンキョウをするばしょのせいりせいとんをしましょう。
- ◎ テレビやおんがくなどをけしましょう。

めやすのじかんは

30分



## <がくしゅうのときには>

- ◎ じかんをきめて、まいにちのしゅくだいをさいごまでていねいにしましょう。
- ◎ ベンキョウちゅうは、おかしをたべたり、たちあるいたりしゃべったりせずにしましょう。
- ◎ ノートをつかうときは、したじきをつかきましょう。
- ◎ もじのがくしゅうをするときは、ひつじゅんにきをつけてていねいにかきましょう。
- ◎ おんどくでは、しせいよく、きいているひとにはなしのないようがわかるようによみましょう。
- ◎ 「えにっき」や「にっき」をかくときは、たのしかったことやうれしかったことをおもいだしながらじぶんのことばでかきましょう。
- ◎ わからないところがあったら、きょうかしょやドリルでしらべましょう。

かていがくしゅう  
わすれゼロ!!  
わすれものゼロ!!

## <がくしゅうのあとには>

- ◎ そのひのうちにじかんわりをあわせ、わすれものをなくしましょう。
- ◎ えんぴつはおうちでけずっておきましょう。
- ◎ つくえのうえやかばんのあとかたづけをしましょう。



## <ちょうせんしよう>

### こくご

- もじのれんしゅう…ひつじゅん、「とめ」「はね」「はらい」、にきをつけてかきましょう。
- ぶんづくり………ならったもじをつかって、ぶんをつくりましょう。
- にっき………「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」「どのように」したのかかきましょう。  
ならったかんじをつかきましょう。  
「は」「へ」「を」をただしくつかいましょう。
- どくしょ………マンガではなく、もじがおおめのほんにちょうせんしましょう。

### さんすう

- たしざん・ひきざん…けいさんカードのれんしゅうをしましょう。

### せいかつのなかで

- おうちのひとといっしょにかいものにつたり、とけいをよんだりしましょう。
- けんぱんハーモニカれんしゅうや、しょくぶつのかんさつをしたりすることもたいせつです。

# かていがくしゅう てび 家庭学習の手引き

「学んだことが使える子」「自ら学ぶ子」「コツコツ続けられる子」をめざそう!!



ねんせいばん  
2年生版

## <学習の前に(学校から帰ったら)>

- ◎ 学校からの「おたより」や「プリント」を、おうちの人にわたしましょう。
- ◎ べんきょうをする場所のせいりせいとんをしましょう。
- ◎ テレビや音楽などをけしましょう。



めやすの時間は

30分

## <学習のさいには>

- ◎ 学習時間を決めて、毎日のしゅくだいを最後までていねいにしましょう。
- ◎ べんきょう中は、おかしを食べたり、立ち歩いたりしゃべったりせずにしましょう。
- ◎ ノートを使うときは、下じきを使いましょう。
- ◎ 文字の学習をするときは、ひつじゅんに気を付けて、ていねいに書きましょう。
- ◎ 音読では、しせい良く、聞いている人に話のないようが分かる読み方をしましょう。
- ◎ 「絵日記」や「日記」を書くときは、楽しかったことやうれしかったことを、おうちの人と会話して思い出しながら、自分の言葉で書きましょう。
- ◎ 点をつなぐもんだい、ひっ算の線引きは、じょうぎを使いましょう。
- ◎ 分からないところがあったら、教科書やドリルで調べましょう。

かていがくしゅう  
家庭学習わすれゼロ!!  
わすれものゼロ!!



## <学習の後には>

- ◎ その日のうちに時間わりを合わせ、わすれ物をなくしましょう。
- ◎ えんぴつはお家でけずっておきましょう。
- ◎ つくえの上やかばんの後かたづけをしましょう。

## <ちょうせんしよう>

### 国語

- 文字のれんしゅう…ひつじゅん、「とめ」「はね」「はらい」、文字の形に気を付けて書きましょう。
- 文づくり……………習った漢字を使い、主語とじゅつ語に気を付けて文を作りましょう。
- 日記……………「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」「どのように」したのか書きましょう。  
習ったかん字を使いましょう。  
「 」の会話の入った文も、改行に気を付けて書けるようになりましょう。
- 読書……………マンガではなく、文字が多めの本にちょうせんしましょう。

### 算数

- 九九……………九九カードのれんしゅうをしましょう。ばらでも言えるようになりましょう

### 生活の中で

- 一緒に買い物に行ったり、時計を読んだりし、子どもの生活経験を増やしましょう。
- 音楽の鍵盤ハーモニカ練習や、生活科で植物の観察をしたりすることも大切です。

# かていがくしゅう てび 家庭学習の手引き



ねんせいばん  
3・4年生版

「学んだことが使える子」「自ら学ぶ子」「コツコツ続けられる子」をめざそう!!

低学年で学んだ基礎を生かした学習へと移行するため、また、学習リズムに慣れを感じ始めるため、個人による差が生まれやすくなる時期で、大変注意が必要です。気をぬかずとりくみましょう。

## <学習の前に（学校から帰ったら）>

- ◎ 学校からの「おたより」や「プリント」を、おうちの人にわたしましょう。
- ◎ 勉強をする場所の整理整頓をしましょう。
- ◎ テレビや音楽などを消しましょう。

めやすの時間は

がくねん 学年×10分



## <学習の際には>

- ◎ 学習時間を決めて、毎日の宿題を最後まででいねいにしましょう。
- ◎ 勉強中は、お菓子を食ったり、立ち歩いたりしゃべったりせずしましょう。
- ◎ ノートを使うときは、下敷きを使いましょう。
- ◎ 文字の学習をするときは、筆順に気を付けてでいねいに書きましょう。
- ◎ 音読では、姿勢良く、聞いている人に話の内容が分かる読み方をしましょう。
- ◎ 「日記」を書くときは、書きたいことがらをしばって詳しく書きましょう。
- ◎ 点をつないだり、ひっ算式の線引きをしたりする際は、定規を使いましょう。
- ◎ 分からないところがあったら、教科書やドリルで調べましょう。

かていがくしゅうわす  
家庭学習忘れゼロ!!  
わす 忘れものゼロ!!



## <学習の後には>

- ◎ その日のうちに時間割を合わせ、忘れ物をなくしましょう。
- ◎ 鉛筆はお家で削っておきましょう。
- ◎ 机の上やかばんの後片付けをしましょう。

## <挑戦しよう>

### 国語

- ・ローマ字………3年生の間に、どの文字もローマ字で書き表せるようになりましょう。
- ・国語・漢字辞典…日ごろから辞書引きの習慣をつけ、言葉の数を増やしましょう。
- ・読書………マンガではなく、文字が多めの本に挑戦しましょう。

### 算数

- ・三角定規・コンパス・分度器（4年生）が正しく使えるようになりましょう。

### 社会

- ・地図記号や都道府県（4年生）を正しく覚えましょう。

### 理科

- ・植物の栽培・観察に家庭でも挑戦しましょう。

### 生活の中で

- ・地域社会の文化や産業、自然にふれる体験を増やしましょう。

# かていがくしゅう てび 家庭学習の手引き



ねんせいばん  
5・6年生版

「学んだことが使える子」「自ら学ぶ子」「コツコツ続けられる子」をめざそう!!

高学年では、学習内容を覚えるだけでなく、学習したことを活用することが求められます。学習言語や与えられたキーワードを用いて文章記述する経験、問題の例文をまねて書く経験、条件に沿った書き方をする経験を、それぞれの教科の中で増やしていきましょう。

めやすの時間は

がくねん  
学年×10分

## <学習の前に(学校から帰ったら)>

- ◎ 学校からの「おたより」や「プリント」を、おうちの人にわたしましょう。
- ◎ 勉強をする場の整理整頓をしましょう。
- ◎ テレビや音楽などを消し、スマホ等も学習に使わなければ片づけましょう。



## <学習の際には>

- ◎ 学習時間を決めて、毎日の宿題を最後までていねいにしましょう。
- ◎ 勉強中は、お菓子を食ったり、立ち歩いたりしゃべったりせずにしましょう。
- ◎ ノートを使うときは、下敷きを使いましょう。
- ◎ 文字の学習をするときは、筆順に気を付けてていねいに書きましょう。
- ◎ 音読では、姿勢良く、聞いている人に話の内容が分かる読み方をしましょう。
- ◎ 「日記」を書くときは、文章の構成に気をつけましょう。
- ◎ グラフや表を描くときは、定規を使って線を引きましょう。
- ◎ 分からないところがあったら、教科書やドリル・辞書などで調べましょう。

かていがくしゅうわす  
家庭学習忘れゼロ!!  
わす  
忘れものゼロ!!



## <学習の後には>

- ◎ その日のうちの時間割を合わせ、忘れ物をなくしましょう。
- ◎ 鉛筆はお家で削っておきましょう。
- ◎ 机の上やかばんの後片付けをしましょう。

## <挑戦しよう>

### 国語

- ・読書……………詩や俳句、有名な文学、人の生き方にふれる伝記等を読みましょう。  
読書後には、要旨と感想を短くまとめて、書いてみましょう。

### 算数

- ・計算……………マス計算などにもチャレンジしましょう。時間を計ることも有効です。
- ・記述……………問題の解き方を、公式を使って文章で説明できるようになりましょう。

### 社会

- ・図鑑・表・年表などを使って、考えをまとめられるようになりましょう。

### 生活の中で

- ・調理・裁縫・ミシンなど、家庭科で学習した内容を生活の中で実践しましょう。
- ※スマートフォン・タブレットの使用は必ず家庭で約束を決め、適切・安全に使用しましょう。